中村眞一議員一般質問内容

（議会報ダイジェスト）

発行日／平成 29 年 7 月 30 日
発行人／眞和会　会長中村平次
〒 389-0802　千曲市内川 484 － 1
TEL(026)275-0671　Email:45basie@gmail.com

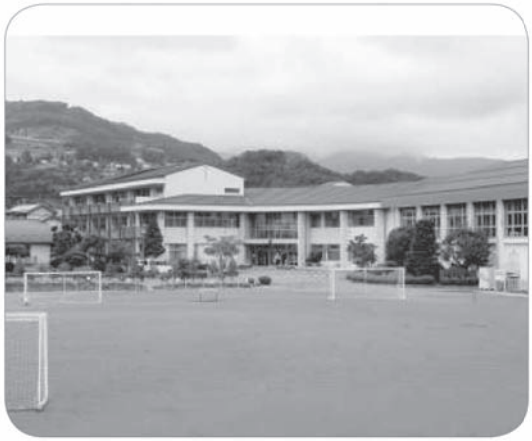
中村眞一議員が行った平成 28 年 9 月議会、12 月議会、平成 29 年 3 月議会の一般質問の内容をご紹介します。それぞれの内容の一部は、議会報で紹介されました。

中村　眞一

小学校区ごとの人口推計と地域別将来像

問　千曲市の将来の人口推計（～2040年）から、小学生は約3300人が2100人と36％減少。千曲市9小学校中、川西地区3校においては全校生徒数が78～89人となり、一学年13～15人に激減。このような小学生の激減は将来的にも大きな影響を及ぼすと思いますが、いかがですか。

答　人口減少が特に進む地域では、地域社会全体に様々な影響が発生することが懸念されます。総合戦略の一つの柱として「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」を示し、小学生の数を一定に保つための様々な施策を掲げ、本年度から本格的に取り組んでいます。



▶学級数の減少が進む川西地区の小学校

問　学校の安易な統廃合を避け、校舎活用の多角化を図り、保育園や地域コミュニティセンター等との併設は考えませんか。

答　県の学級編成基準によると、9人以上で学級編成が可能になっていますが、保育園や地域コミュニティセンターとの併設は、今後の課題として検討してまいります。

問　「コンパクトシティ構想」の策定が進んでいますが、各地域ごとのコミュニティ対策を早急に検討すべきだと思いますがいかがですか。

答　今年から拠点と拠点をネットワーク化しつつ、都市機能の集約等を検討する「立地適正化計画」や「協働のまちづくり行動計画」など、地域コミュニティの考え方と関連のある計画策定に取り組んでいます。

平成 28 年 9 月議会

そのほか、千曲市総合防災訓練と地域防災訓練について、災害時要支援者名簿の作成と活用についてなどを質問しました。主な質問と答弁内容の趣旨は次のとおりです。

問　「千曲市総合防災訓練」の訓練のテーマは何ですか、千曲川洪水訓練もという声もありますが。避難訓練を徹底し地域区民の参加型訓練にすべきと思いますが。

答　総合防災訓練は災害基本法や千曲市地域防災計画に基づき実施しています。今年度は国が地震と津波とに重点をおき実施したので、千曲市は大地震を想定に実施しました。各地区においては訓練内容は区長・自治会長にまかせて、必要な資材をできる限り市で提供しています。多くの市民の皆様に参加していただけるよう、市民参加型、体験型実施訓練になるよう工夫しています。

問　千曲市で洪水が発生した場合の避難施設は十分とは言えないと思います。避難施設の洗い直しが必要だと思いますが。

答　大規模災害になれば今のままでは避難場所が足りません。今後は地域を越えた広域避難も検討していく必要があり、市も更なる防災体制の整備に努めていきます。

問　災害時要支援者名簿作成の実績と活用はどうなっていますか。作成から管理、活用などをマニュアル化すべきと思いますが。

答　平成 28 年 3 月現在で要支援名簿登録者対象者が約 2,600 人、名簿の公表や同意を承認していただいた個別支援計画作成者は約 730 人となっています。管理や活用は各区、自治会にまかせていますが、災害時には非難行動を迅速かつ適切に実施できるよう活用していただきたい。各地区の事情や、支援者、要支援者の事情もあるので、国や県の指導がない限りマニュアル化は考えていません。

中村　眞一

市長の所信表明と二期目の市政経営の基本方針は

問　〝千曲市の「運営」からマーケティング志向の「経営」に変えよう！〟は私の先の選挙のスローガンでした。市長の所信表明でも「市政を経営」していくとありますが、具体的対策は。

答　将来の超高齢社会に備え、安定的な財源を確保する必要があります。まず、千曲市の活性化を図り、税収拡大の対策が急務で、財政改革と共に公共施設の統廃合等も図り、「行政経営」を強力に進めたいと思います。

▶千曲市遠景

問　「交流人口を拡大し、地域経済に活力を与え、市の財政力を高める」とありますが、諸政策もここに集中すべきかと思いますが如何ですか。

答　まちづくりの「カタチ」として四つのエリアを示しておりますが、それぞれのエリアが生み出す活力や人の流れを市内全域に循環させる取り組みを進めたいと思います。これにより、交流人口の拡大や地域経済の活力向上を図りたいと思います。

問　「モノ」から「コト」へという使い方がされますが、今回初めて「コト」という言葉が出されましたが、具体的な「コト」とは何ですか。

答　まちづくりにおいて、ハード事業をはじめとする物資的な成果を生み出す「モノ」だけでなく、いま芽生え始めている「地域の支え合い」、「福祉」、「子育て」等の様々な課題を解決しようとするソフト事業を含む市民が主体となって展開する多彩な活動を「コト」と称し、これを主体的に推進したいと思います。

平成 28 年
12 月議会

そのほか、市長選の選挙結果と市民への周知について、新幹線新駅誘致の日限を決めた活動と工程表についてなどの質問をしました。

中村　眞一

平成29年度施政方針について

問　岡田市政2期目がスタートし、この数年が千曲市の将来を決するといっても過言でないと思いますが、新しい千曲市を創生する絶好のチャンスでもあります。そこで施政方針で選択と集中とありますが…。

答　一般財源の確保が厳しくなることから、すべての市民のニーズに対応することが困難になってまいります。第二次総合計画に掲げておりますが、市独自の目標のもと必要性、優先度を明確にし、行政サービスにおいても「量」から「質」への転換を図り、財源を有効に活用し、持続可能な行政経営を行ってまいります。

問　施政方針、予算案を分りやすく丁寧に周知し、市民に正しい理解を得ることが第一では。

答　分かりにくい行政用語を用いず、イラストや写真等を活用するなど、市の施策や財政状況等を分りやすくまとめて市報、ホームページなどで公表いたします。

問　予算案に大型商業施設誘致等の調査費が2件計上されましたが、千曲市活性化の切り札的事業として、将来の安定的な財源確保の為にも、最重点課題に位置づけ、スピード感のある推進を図って欲しいと思いますが。

答　屋代地区土地区画整理事業とスマートインターチェンジについては早期業務発注に努め、当該地区の開発が進むよう、土地区画整理事業の事業化と屋代地区のまちづくり協議会を支援、連携しながら協議を進めてまいります。

▲千曲市立地適正化マップ

平成 29 年
3 月議会

そのほか、千曲市版 DMO「一般社団法人　信州千曲観光局」の目的とコンセプトについて、戸倉上山田温泉の位置づけについてなどの質問をしました。